



佐々木 元司

Motoshi Sasaki
エグゼクティブ ライフプランナー
部長

名古屋ライフプランナーセンター第9支社
〒461-0005 名古屋市東区東桜1-1-10
アーバンネット名古屋ビル17F

Tel **052-955-7779**
Fax 052-955-7789
携帯電話
e-mail motoshi_sasaki@sonylife.co.jp
office@fpsasaki.jp

1級ファイナンシャル・プランニング技能士
C F P
MDRT2007成績資格終身会員

私の両親は昭和10年と11年生まれ、70歳代前半です。

岐阜県の恵那市という素敵な街に住んでいます。

両親は共に同じ高校（私の母校でもあります）を卒業後、同じ町役場に就職し、結婚し、家庭を築きました。父は野球が大好きで、私が生まれた当時のジャインツのエース藤田元司さんの名前から私に「元司」と名付けてくれました。昭和37年のことです。

私はその静かな街で18年間を過ごしました。

両親はその街で70年以上暮らし続けています。

父は40年以上公務員を続けました。

父は退職後、多少ゆとりの時間ができたのか、学生時代から好きだった油絵を描き始めました。

写真のうしろにある絵も父の作品（長野県開田高原から見た木曾御岳）です。

その父に、最近、膀胱がんが見つかりました。

少し早すぎる病との闘いが始まりました。

父はこの病気と共存する決断をし、近くに住む私の弟や妹にも支えられて生活しています。

前向きに、これからの人生を楽しもうとしているように見受けられます。とても嬉しいことです。

私は3人兄弟の一番上（つまり長男）です。私は生まれ育った街が大好きです。しかしながら、18歳で高校を卒業してから四半世紀以上も私はその街で暮らしていません。現在の私の自宅から実家までは高速道路を走ればたった1時間で辿り着けます。それにもかかわらず、頻繁に孫の顔を見せてあげることすらできていません。

私のお客様の中には、病気と闘い続けていらっしゃる方が、幾人もおみえになります。

その方々に、ご加入いただいた生命保険から「考えられる限り」の給付金をお支払いすることは当然のことです。

それ以外に、私にできることは何でしょうか？

私の大切なお客様には、いつまでも幸せにお暮らしいただきたい。切に考え続ける毎日です。

[フリーダイヤル 0120-509-720]

[URL <http://www.fpsasaki.jp>]